

関の河上薬品商事 設立50周年を祝う

岐阜で記念式典

配置薬事業とナチュラルミネラルウォーター事業のグループを構成する「河上薬品商事」（関市関口町）は14日、設立50周年記念式典を岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開いた。節目に会社として関市へ1千万円を、河上宗勝社長（78）が個人として岐阜薬科大へ1千万円の計2千万円を贈った。河上社長が山下清司市長と原英彰学長へ目録を手渡し、集まった300人から大きな拍手が送られた。

河上社長は客や取引先、地域、社員へ感謝を述べ50年の歩みを振り返った。今年3月期にグループで過去

50年の歩みを振り返り感謝を述べる河上社長―岐阜市長良の岐阜グランドホテルで



最高の242億円を売り上げ「来年の3月期には300億円を達成したい」と力を込め「100歳まで現役を目指し、恩返しをしていく」とあいさつを締めた。

この日は「群馬工場報告会」を兼ね、群馬県に建設しているミネラルウォーター工場が来年2月から出荷

を予定していると述べた。

河上薬品商事は1974（昭和49）年4月設立。企業の合併・買収（M&A）で事業を拡大し、今年2月にホールディングスを設立して、現在は中核の河上薬品商事が傘下のグループ11社を統括する。全国に展開する従業員は約800人。

（藤野治英）